

白根市のビジョンと現況

①

みなさんへ中間報告します

《総合計画》

「総合計画が策定され、六十年までのビジョンが知らされてからもう何年にもなります。どこまで進んでいるかを中間報告して、「たさい」との市民の声に答えて、今月から「市のビジョンと現況」をお知らせします。これら事業を実施するにあたっては、毎年、その翌年度を初年度とする三年の実施計画を策定していく方式（ローリングシステム）をとっています。今月号では、五つの市政目標（理想とする都市像）のうち、教育文化都市のこれまでの足どりをふりかえって、中間報告とします。下欄の基本構想の各論と、これまでの実績を見比べて、白根市がどうかたちつづられたかお読みください。

進む小中学校の施設の近代化

総合計画とは

私たちが住むまち白根市をより住みよいまちにするために、長期的展望に立って行財政運営をしようとするのが総合計画です。

現在の総合計画は、四十六年に策定したものを、五十二年三月に全面改訂したもので、五つの市政目標（理想とする都市像）をあげ、その目標達成のため市民のみなさんとともに努力するものです。

明日の白根市をにう子どもたちに行き届いた教育は、市の重点施策として進めています。このため、教育予算の多くを校舎の整備に投入してきました。充実した教育効果をあげるためにも、学校の適正配置と規模の適正化を図ることが必要です。中学校については、昭和五十年四月に白根中、根岸中、茨曾根中の三校が統合して白根第一中学校が開校しました。また、小学校は旧行政区ごとに一校を配置することを基本とし、六十年までに大郷小と鷲巻小を統合、大通団地周辺に一校新設すると基本計画にかけられています。この計画にもとづき、五十一年四月には高井小と松橋小が統合して根岸小学校が開校。根岸小学校は、旧根岸中学校の校舎を使っています。また、五十四年四月には大通小学校が新設校として開校しました。この大通小学校は、黒崎町への教育委託の解消と、宅地開発による人口増加に対応して新設されたものです。

理想とする都市像

美しい自然のある生活都市

人間は自然の中の一部であり、自然なしには生活はあり得ません。信濃川、中の口川など、白根の美しい自然を保護し、地方都市のもつ特性である緑と太陽と空間の恵みを生かし、生活の場と生産の場を分離して、高度な都市施設が整備され、便利で快適なだれもが住みたくなる生活都市をめざします。

人間性豊かな福祉都市

市民のだれもが健康で、しあわせな生活が営まれなければなりません。心身に障害のある人など恵まれない人々に温かい手が行き届き、子供や老人が大切にされる人間性豊かな都市、そして健康を損ねた人が安心して高度の医療を受けられる人間尊重の理念を基本とした福祉都市をめざします。

文化のある教育文化都市

豊かな市民生活に文化の土壌は欠かせません。健康で情操豊かな市民を育てるために、生涯にわたって体育、スポーツ活動を愛好し、郷土色豊かな白根の文化がはぐくまれ、優れた教育環境のもとで、自主性・協調性を高め、創造力の醸成に努めて豊かな知識と人間性が高められる教育文化都市をめざします。

調和のとれた産業都市

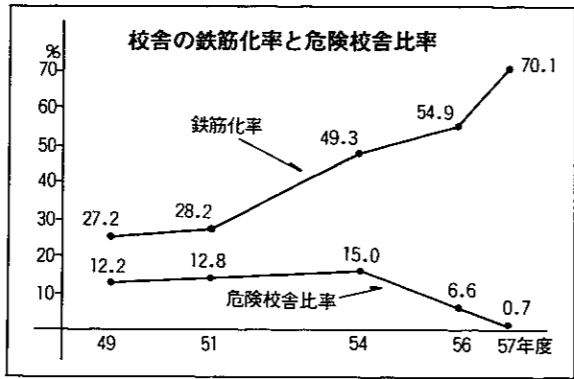
市民の豊かな生活を支えるために、産業の振興を進めます。高速交通体系の建設によってもたらされる経済効果を積極的に活用するため、総合的な土地利用に基づいて道路網を整備し、農業の近代化を基調として内陸工業地帯の形成と商業の振興を図り、農業地域と市街地地域との調和のとれた産業都市をめざします。

みんなで作る市民都市

白根は田園のまち、風のまちとして牧歌的な気風をもち、先人たちが自分たちの手でまちを築いてきました。これまでのこの伝統を生かして市民みんなで考え、みんなで協力して築きあげる市民都市をめざします。



新しい校舎で授業を受ける子供たち（大通小—54年4月開校）



さらに、五十八年四月開校をめざし、大郷小と鷲巻小の統合校大鷲小学校の建設が昨年度から、小林小と戸頭小の統合校小林小学校の建設が今年度から進

められています。

鉄筋化率は七〇％に

市内の小中学校の校舎は、建物の年代の違いなどで、早急に改築しなければならぬ老朽・危険校舎がいくつもあります。そこで、このような危険校舎及び木造校舎を取り壊し、全校の鉄筋化をめざします。

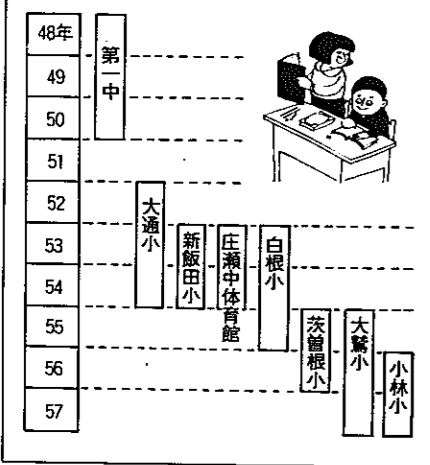
前述した新設校や統合校の校舎は、根岸小学校の一部を除いてすべて鉄筋づくりです。また、五十三年度から二か年で新飯田小学校、三か年で白根小学校をそれぞれ改築して鉄筋化していきます。さらに、昨年度から改築工事を進め、この夏休み中に完成する茨曾根小学校も鉄筋コンクリートのモダンな校舎です。五十一年度には校舎の鉄筋化率二八・二％、危険校舎率二二

四十億円を投入

第一中学校の建設以来、ひと息つく間もなく、毎年教育施設の建設が進められ、これまでにすでに四十億円にもなる巨費が投入されています。

この学校建設の費用のほかに、廊下やプールの補修、校庭の排水溝の工事など、あまり目に見えない所にもたくさんのお金が使われています。

学校建設の足どり



全面改築された白根小学校
50年4月開校の第一中学校

白根市のビジョン

文化のある教育文化都市

■学校教育
白根市の教育は、豊かな人間性と創造力のある人材の育成を基本方針とします。

人間形成のうえから、幼児教育の必要性が一段と高まるので、幼稚園と保育園の関連を考慮しながら機能分担を行い、併せて施設整備を行っていきます。

義務教育については、地域における人口の増減および社会情勢の推移をみながら、施設の適生配置に努める一方、教職員の資質の向上と設備の充実をはかっています。また、特殊教育についても教育の機会を保障するため、その充実を努めています。高等教育についても、進学率の推移など将来を展望して施設の増強を促進していきます。

■社会体育

市民の体力を増進し、余暇時間の善用を図りながら健康で豊かな情操をはぐくむ都市づくりをめざします。このため、すべての市民がスポーツに親しめるよう総合体育施設の建設、各地区には学校開放など有効利用を図りながら施設整備を行っていきます。また、スポーツ愛好者の底辺を広げるために、指導者